

2021 年度 DRP 検討委員会
第 4 回会合議事録 (案)

日時： 2021 年 12 月 3 日(金) 10:00～12:00
場所： リモートでの開催

1. 議題：

1. 2021 年度 DRP 検討委員会第 3 回会合議事録 (案) について
2. JP-DRP の多言語化及び WIPO との提携などについて
3. 2021 年度及び今後のパネリスト候補者研修について
4. 情報公開代行サービスについて
5. その他

2. 資料一覧：

- 資料 1 2021 年度 DRP 検討委員会第 3 回会合議事録 (案)
- 資料 2-1 JP-DRP の多言語化及び WIPO との提携などについての今回の論点
- 資料 2-2 JP-DRP の言語決定のプロセスおよび多言語化への対応などについて
- 資料 3 2021 年度パネリスト候補者研修について
- 資料 4 情報公開代行サービスに関する資料抜粋

- 参考資料 2-1 JP ドメイン名紛争処理パネリスト候補者研修資料
- 参考資料 2-2 JP 裁定例分析 1 (配布用)
- 参考資料 2-3 日本のドメイン名紛争処理手続における英語による手続の導入
について (2021 年) 未定稿
- 参考資料 3 ケーススタディの事案選定のための裁定リスト

3. 出席者(50 音順) (敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	卜部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀 法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合 法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター運営委員
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 常務理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：林 宏信、前村 昌紀、山崎 信

4. 傍聴

JPRS 1名、JPNIC 1名

5. 議事

10時に井上委員長により開会された。

議題1. 2021年度第3回会合議事録(案)について

- ・2021年度第3回の議事録については、事前に送付してもらっており、特段の意見などないので確定とする。(井上)

議題2. JP-DRPの多言語化及びWIPOとの提携などについて

英語での裁定における言語決定のプロセスについて

- ・規則化して、異議を出さなければ英語での裁定になると言うのは、日本人の権利保護や手続き保障の観点から登録者に不利益であり、パネリストの裁量による判断のほうが良い。
- ・規則化の提案の意図は、手続き言語の決定タイミングによる、申立書や資料の和訳などの手間とタイミングによる、裁定期間が1か月程度伸びてしまうことへの解決策だが、一定の割合で1か月程度伸びてしまうのはやむを得ないのではないか。
- ・規則の改正は時期尚早であり、まずは運用方針を出し、パネリスト候補者や事件管理者などで共有することから取り組んでいく。

多言語化およびWIPOとの提携など

- ・英語以外のニーズについては、中国語など一定程度はあるのではないか。
- ・対応方法としては、多言語対応可能なパネリスト候補者を増やす、WIPOとJIPACで提携し協力関係を構築する、WIPOをJIPACの競合としてJPNICの認定処理機関とするなどが考えられる。

- ・ WIPO を処理機関とすることは、多言語対応以外にも ICANN の方針にもある複数処理機関で競合してサービスレベルを上げるというメリットもある。
- ・ WIPO を処理機関とするには、原則日本語や準拠法などに対応できることが前提となるのではないか。
- ・ 多言語化への対応方法は、今後の検討課題であるが、提携の形や方法論など様々な可能性を見極まるためにも、WIPO の意向も含め一度コンタクトして話を聞いたうえで、次の検討を行うこととする。(井上)

議題 3、今後のパネリスト候補者研修について

- ・ 昨年度、今年度と 2 回開催してきたが、年間に複数回をコンスタントに開催していくのが望ましい。事例研究は、研修会のサステナビリティが担保される。
- ・ 事例研究の研修会とパネリストとして多くの裁定を担当したベテランの先生の講義の研修会を次の 2 回で開催する。
- ・ 次回開催は 4 月、次々回開催は 7 月頃の開催とすることで日程などを調整する。

議題 4. 情報公開代行サービスについて

: ICANN と JPRS、.com と.jp のレジストリ、レジストラ、指定事業者の仕組みの違いにより、プライバシーサービス（公開代行サービス）を利用した場合、真の登録者に直接はコンタクトできないことになっており、申立された場合に真の登録者が反論できず、裁定において不利益を被る可能性があることをどのように考えるか、必要があれば、JPRS や指定事業者にも意見を聞いて見る必要があるのではないか。

- ・ 次回の継続検討とする。(井上)

議題 5. その他

- ・次回検討委員会は、2022年2月24日（木）10時から12時で開催することとする。
（井上）

以上をもって、井上委員長により会議は12時00分に閉会された。

以上